

銀

gin

の

no

絵

e

空

sora

事

goto

Photograph of the sky

さしだせいか

いま見えているもの

いま聞こえているもの

いま触れているもの

全てが

あなたにとっての宝物になりますように

銀
gin

の
no

絵
e

空
sora

事
goto

Photo&Word by さしだせいか



空に雲が浮かんでいても
空から柔らかな光が降ってきても
あなたが見上げなければ
無いに等しい



今ここに無いもののごとばかり考えてる
じゃあ
今ここにあるもののごとは
いつ考えるの？



悲しい涙は いつだって一人で流せるもの
嬉しい涙を 二人で溜めるのは難しい
だから近くにいて
同じものを見て
同じものを聴いて
同じ時間を過ごそう
あなたとは 同じ温度の涙を流したいから



”私らしく”
そう言って歩き出す
でもね
私らしくなんて思っているうちは
見えない何かに囚われてるんだよ




毎日がつまらなくて
いつもと違う一日を探てる
探しながら一日が過ぎていって
また同じ一日が始まる
そんな毎日に安心して
やしてまた新しい一日が始まる



手を伸ばせば届くかもしれない
手を伸ばしても届かないかもしれない
でも手を伸ばさなければ絶対に届かない
見上げてるだけじゃ駄目なんだ



あの時があったから今がある
今があるからあの時を思い出せる
永遠なんて信じてないけど
明日は来ると思えるんだ



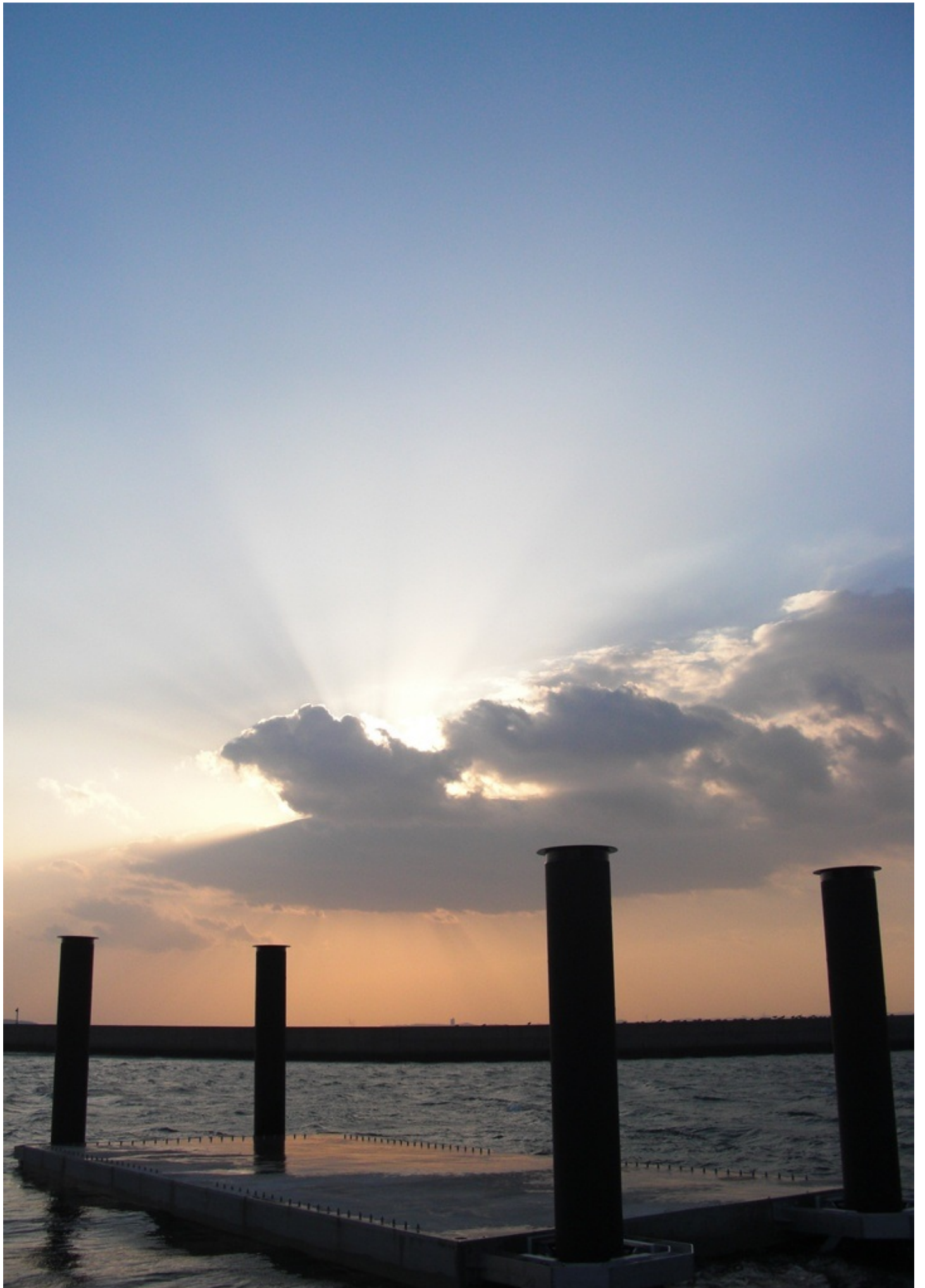
ゆっくりでもいい
進んでいけば
立ち止まってもいい
再び歩き出すなら
大切なのは
たどり着く場所じゃない
ここから一歩でも
踏み出すこと

生きてること
世界が存在すること
死ぬこと
世界の中から存在が消えること
どっちしても世界はあまり変わらない
そんな大きな世界の中に
あなたの存在があること
それだけで奇跡





さくらさくらと人々は
さくらはまだかとはやし立て
さくらさくらと人々は
さくらが咲いたとわめき立て
さくらさくらと人々は
美しい美しいと騒ぎ立て
さくらの下は
人々であふれかえる





子供の頃いつだったか嘘泣きをおぼえた
大人になっていつだったか嘘笑いをおぼえた
本当に悲しいのか
本当に嬉しいのか
分からなくなっても笑っていよう
嘘はいつの間にか
本当になることもある



どんなに頑張っても手に入らないものがある
そんなことはもう知っている
それでもまだ頑張ってるのは
それを手に入れた人たちが
そこまで頑張ってきたことを知ってるから



「生きなきゃいけない」
そう思うのが辛くなってきたら
「生きてあげてる」
それくらいに考えればいいよ



ここから飛び出して
走って
叫んで
自分を見失うくらいが
ちょうどいい時もある




つらいことがあったそんな日は
ご飯を食べて眠る
起きてまたご飯を食べて
簡単だけど自分を見失わない唯一の方法
ときどき空を見上げて
きれいだと思ったらまだ大丈夫



過去に間違ってた答えが
今でも間違っているとは限らない
過去に合っていた答えが
今でも合ってるとは限らない
だから今でも
答えを探し続けてるんだ






もし最後に
あなたに一言だけしか
残すことが出来ないとしたら
なんて言おう
”好きです”
”愛してる”
”ごめんなさい”
”ありがとう”

たくさん言葉が出てきて
結局なにとも言えないかもしれないから
毎日少しずつ
伝えていくよ



幸せを守ろうとすると
すっと消えてしまう
幸せを持ち続けたい時は
皆と分かち合えばいい
幸せはそこで
増えていくから



最後まで読んで下さり、ありがとうございます。
嵐明けの休日、穏やかな空の下でこの写真集は完成しました。
旅先で撮った空たちに言の葉をのせて、皆さんのもとへ届いたなら嬉しいです。
普段はマンホールの写真を撮るため下ばかり向いている旅人ですが、こうして空の写真を撮ったり、旅先で出会った猫を追いかけてみたりと、行き当たりばったりを楽しんでいます。
マンホールの旅日記の方もちらっと覗いて頂けたら、きっと小躍りしながら喜ぶと思います。
それではまた。
どこかの空の下で会える日を楽しみにしています。



銀の絵空事

<http://p.booklog.jp/book/90342>

著者プロフィール

<http://p.booklog.jp/users/rakugakitei/profile>

感想はこちらのコメントへお願いします

<http://p.booklog.jp/book/90342>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/90342>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ